

学校コード F111310102129

注3

設置年度 令和 4年度

計画の区分： 学部の学科の設置

注1

届出

注2

日本工業大学 先進工学部 データサイエンス学科

【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人日本工業大学
令和4年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 教務部 教務課

職名・氏名 課長 穴井正洋

電話番号 0480-34-4111

（夜間） 0480-34-4111

e-mail kyomu@nit.ac.jp

（注）1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例） 〇〇大学 △△学部 □□学科

（旧名称：◇◇学科（平成◇◇年度より学科名称変更））

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例）

- 大学の設置の場合：「〇〇大学」
- 学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- 学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- 短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- 大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
- 大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- 大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻（修士課程）」
- 通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科（通信教育課程）」

3 学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。

なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、当該番号を記載してください。

https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html

目次

先進工学部

＜データサイエンス学科＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	13
4. 既設大学等の状況	14
5. 教員組織の状況	15
6. 附帯事項等に対する履行状況等	38
7. その他全般的事項	39

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設 置 者

学校法人日本工業大学

(2) 大 学 名

日本工業大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒345－8501
埼玉県南埼玉郡宮代町学園台4-1-1

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を（ ）書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職 名	設 置 時	変 更 状 況	備 考
理 事 長	(ヤナギサワ アキラ) 柳澤 章 (平成25年7月)		
学 長	(ナリタ ケンイチ) 成田 健一 (平成27年12月)		
学 部 長	(ヨシノ ヒデアキ) 吉野 秀明 (令和4年4月1日)		
学科長等	(クメノ フミヒロ) 糸野 文洋 (令和4年4月1日)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を（ ）書きで記入してください。
(例) 令和3年度に報告済の内容 → (3)
令和4年度に報告する内容 → (4)
・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載（昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正）するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部・学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、別ファイルにて提出してください(作成方法は、事務連絡「令和4年度の履行状況報告書の提出について(依頼)」を確認してください)。
- ・ 様式は、平成30年度開設の4年制の学科の完成年度を越えて報告する場合(令和4年度までの5年間)ですが、完成年度を越えている場合は別途ご連絡ください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
先進学部 データサイエンス学科 学士(工学)	工学関係	4 年	120 人	年次 人	480 人		

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止(予定)」と記載してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

対象年度 区 分	平成 3 0 年度		令和元年度		令和 2 年度		令和 3 年度		令和 4 年度		平均入学定員 超 過 率	開設年度から 報告年度まで の平均入学定 員超過率	備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	人 － (ー) [ー]	人 － (ー) [ー]	人 － (ー) [ー]	人 － (ー) [ー]	人 － (ー) [ー]	人 － (ー) [ー]	人 － (ー) [ー]	人 － (ー) [ー]	人 120 (ー) [ー]	人 － (ー) [ー]	1. 25倍	1. 25倍	
志願者数	－ (ー) [ー]	－ (ー) [ー]	－ (ー) [ー]	－ (ー) [ー]	－ (ー) [ー]	－ (ー) [ー]	－ (ー) [ー]	－ (ー) [ー]	802 (ー) [2]	－ (ー) [ー]			
受験者数	－ (ー) [ー]	－ (ー) [ー]	－ (ー) [ー]	－ (ー) [ー]	－ (ー) [ー]	－ (ー) [ー]	－ (ー) [ー]	－ (ー) [ー]	789 (ー) [2]	－ (ー) [ー]			
合格者数	－ (ー) [ー]	－ (ー) [ー]	－ (ー) [ー]	－ (ー) [ー]	－ (ー) [ー]	－ (ー) [ー]	－ (ー) [ー]	－ (ー) [ー]	421 (ー) [2]	－ (ー) [ー]			
B 入学者数	－ (ー) [ー]	－ (ー) [ー]	－ (ー) [ー]	－ (ー) [ー]	－ (ー) [ー]	－ (ー) [ー]	－ (ー) [ー]	－ (ー) [ー]	150 (ー) [2]	－ (ー) [ー]			
入学定員超過率 B／A	－		－		－		－		1. 25				

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ ()内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度(令和4年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
- ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学等のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「-」を記入してください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1 年次	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	150 [2] (-)	- [-] (-)	
2 年次			- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	
3 年次					- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	
4 年次							- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	
計	- [-] (-)		- [-] (-)		- [-] (-)		- [-] (-)		150 [2] (-)		

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
					うち留学生数	
平成30年度	0 人	0 人	平成30年度	0 人	0 人	
令和元年度	0 人	0 人	平成30年度	0 人	0 人	
			令和元年度	0 人	0 人	
令和2年度	0 人	0 人	平成30年度	0 人	0 人	
			令和元年度	0 人	0 人	
			令和2年度	0 人	0 人	
令和3年度	0 人	0 人	平成30年度	0 人	0 人	
			令和元年度	0 人	0 人	
			令和2年度	0 人	0 人	
			令和3年度	0 人	0 人	
令和4年度	150 人	0 人	平成30年度	0 人	0 人	
			令和元年度	0 人	0 人	
			令和2年度	0 人	0 人	
			令和3年度	0 人	0 人	
			令和4年度	0 人	0 人	
合 計		0 人		0 人	0 人	

(注)・ 数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
 - ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
 - ・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
 - ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
- (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
- ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) 一⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{150} = \boxed{0} \%$$

(注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<先進工学部 データサイエンス学科>

(1) ー① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼任・ 兼任
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
共通 教育 科目	スタディスキルズ	1春・秋		1							2
	学修と実工学	1春・秋		1							2
	大学生のための文章読解	1春・秋		1							2
	大学生のための文章作成	1秋・2春		1							2
	日本語プレゼンテーション	2春・秋		1							1
	ものづくり基礎実習Ⅰ	1春		1							5
	ものづくり基礎実習Ⅱ	1秋		1							2
	心理学	1春・秋		2							1
	法学(日本国憲法)	1春・秋		2							1
	科学へのいざない	1春・秋		2							3
	宇宙の探求	2春・秋		2							2
	物質の探求	2春・秋		2							2
	哲学	2春・秋		2							1
	現代産業論	1秋・2春		2							1
	経済学	2春・秋		2							1
	政治学	2春・秋		2							1
	会計学	2春・秋		2							1
	健康とスポーツ	1春・秋		1							4
	生涯スポーツ	2春・秋		1							4
	健康科学	2春・秋		2							1
	基礎英語Ⅰ	1春・秋		1							6
	基礎英語Ⅱ	1春・秋		1							6
	リーディングスキルⅠ	1春・秋	1								12
	リーディングスキルⅡ	1春・秋	1								12
	英会話Ⅰ	1秋・2春		1							18
	英会話Ⅱ	2秋		1							18
	上級英語Ⅰ	2春		1							18
	上級英語Ⅱ	2秋		1							18
	プレゼンテーションⅠ	1秋・2春		1							6
	プレゼンテーションⅡ	2秋		1							6
	海外英語セミナー	1・2・3・4秋		2							3
	日本語表現Ⅰ	1春		1							1
	日本語表現Ⅱ	1秋		1							1
	日本語Ⅰ	1春		1							1
	日本語Ⅱ	1秋		1							1
	日本語Ⅲ	2春		1							1
	日本語Ⅳ	2秋		1							1
	基礎数学Ⅰ	1春・秋		1							9
	基礎数学Ⅱ	1春・秋		1							9
	数学	1春・秋	2								9
	応用解析	1春・秋		2							9
	確率論	1秋・2春		2							1
	統計学	1秋・2春		2							1
	工学基礎物理	1春・秋		2							9
	物理Ⅰ	1春・秋	2								9
	物理Ⅱ	1春・秋		2							9
	工学基礎物理実験	1春・秋	1								5
	化学Ⅰ	1春・秋		2							5
	化学Ⅱ	1春・秋		2							6
	エコ入門	1春・秋		2							4
	環境と科学技術	1秋		2							3
	生命と生態系のしくみ	1秋		2							1
	地球環境と人間社会	2春		2							4

【令和4年度】

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼任・ 兼任
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
共通 教育 科目	スタディスキルズ	1春・秋		1							3
	学修と実工学	1春・秋		1							3
	大学生のための文章読解	1春・秋		1							5
	大学生のための文章作成	1秋・2春		1							5
	日本語プレゼンテーション	2春・秋		1							2
	ものづくり基礎実習Ⅰ	1春		1							5
	ものづくり基礎実習Ⅱ	1秋		1							3
	心理学	1春・秋		2							1
	法学(日本国憲法)	1春・秋		2							1
	科学へのいざない	1春・秋		2							3
	宇宙の探求	2春・秋		2							2
	物質の探求	2春・秋		2							2
	哲学	2春・秋		2							1
	現代産業論	1秋・2春		2							1
	経済学	2春・秋		2							1
	政治学	2春・秋		2							1
	会計学	2春・秋		2							1
	健康とスポーツ	1春・秋		1							5
	生涯スポーツ	2春・秋		1							4
	健康科学	2春・秋		2							1
	基礎英語Ⅰ	1春・秋		1							7
	基礎英語Ⅱ	1春・秋		1							14
	リーディングスキルⅠ	1春・秋	1								14
	リーディングスキルⅡ	1春・秋	1								10
	英会話Ⅰ	1秋・2春		1							14
	英会話Ⅱ	2秋		1							13
	上級英語Ⅰ	2春		1							13
	上級英語Ⅱ	2秋		1							13
	プレゼンテーションⅠ	1秋・2春		1							7
	プレゼンテーションⅡ	2秋		1							5
	海外英語セミナー	1・2・3・4秋		2							4
	日本語表現Ⅰ	1春		1							1
	日本語表現Ⅱ	1秋		1							1
	日本語Ⅰ	1春		1							1
	日本語Ⅱ	1秋		1							1
	日本語Ⅲ	2春		1							1
	日本語Ⅳ	2秋		1							1
	基礎数学Ⅰ	1春・秋		1							9
	基礎数学Ⅱ	1春・秋		1							9
	数学	1春・秋	2								9
	応用解析	1春・秋		2							9
	確率論	1秋・2春		2							1
	統計学	1秋・2春		2							1
	工学基礎物理	1春・秋		2							10
	物理Ⅰ	1春・秋	2								10
	物理Ⅱ	1春・秋		2							9
	工学基礎物理実験	1春・秋	1								6
	化学Ⅰ	1春・秋		2							5
	化学Ⅱ	1春・秋		2							6
	エコ入門	1春・秋		2							4
	環境と科学技術	1秋		2							3
	生命と生態系のしくみ	1秋		2							1
	地球環境と人間社会	2春		2							4

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼任・ 兼担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
共 通 教 育 科 目	環境・エネルギー・SDGs概論	2春		2							1
	地球システムのしくみ	2春		2							1
	ライフサイクルアセスメント概論	2秋		2							1
	現代社会の基礎知識Ⅰ	1春		2							3
	現代社会の基礎知識Ⅱ	1秋		2							3
	現代社会の諸問題	1秋		2							1
	会社の仕組みと経営の仕組み	2春・秋		2							1
	起業とビジネスプラン	3春		2							1
	新会社設立と技術経営	3秋		2							1
	暮らしの支援とエンジニアの協働	1春		2							1
	地域活動リテラシー	1秋		2							1
	キャリアデザイン	2春・秋		2							1
	Focus on Inter-Cultural Communication	1春・秋		2							2
	Focus on Cross-Cultural Understanding	2春		2							2
専 門 科 目	Science and Technical English Presentations	3春		2							2
	Integrated Science and Technology	3秋		2							2
	日本での生活と学習	1春		1							1
	日本事情	1秋		2							1
	小計(71科目)	－	7	98	0	0	0	0	0	0	80
	情報リテラシー	1春・秋	2								1
	データサイエンスとAI入門	2秋	2			3	1				7
	線形代数Ⅰ	2・3春		2							1
	代数学Ⅰ	2・3春		2							1
	幾何学Ⅰ	2・3春		2							1
	解析学Ⅰ	2・3春		2							1
	応用数学Ⅰ	1秋		2							1
	線形代数Ⅱ	2・3秋		2							1
	代数学Ⅱ	2・3秋		2							1
	幾何学Ⅱ	2・3秋		2							1
	解析学Ⅱ	2・3秋		2							1
	応用数学Ⅱ	2・3秋		2							1
	フレッシュマンゼミ	1春	1			4	5				
	データサイエンスプログラミングⅠ	1春	2			1	2				
	メディア情報学	1春		2							1
	情報理論	1秋		2		1					
	数理統計	1秋・2春		2							1
	データサイエンス基礎数理	1秋・2春		2			1				
	データサイエンスプログラミングⅡ	1秋	2			1	2				
	プロジェクトマネジメント	1秋	2			1	1				
	情報ネットワーク基礎	2春		2							1
	データベース	2春		2			1				1
	人工知能	2春		2		1					
	データサイエンスプロジェクトⅠ	2春	2				3				
	データサイエンスプログラミングⅢ	2春		3		1	2				
	情報セキュリティ基礎	2春		2			1				
	経済性工学	2秋		2			1				
	データ工学	2秋		2							1
	センサネットワーク	2秋		2		1					
	アルゴリズムとデータ構造	2秋		2			1				1
	ソフトウェア工学	2秋		3		1					1
	データサイエンスプロジェクトⅡ	2秋	2			2	1				
	データサイエンスプログラミングⅣ	2秋	3			1	2				
	情報セキュリティ応用	2秋		2			1				
	システム最適化	3春		2							1
	サービス工学と品質	3春		2		1					
	IoTシステムデザイン	3春		2		1					
	機械学習Ⅰ	3春		2		1					
	データサイエンスプロジェクトⅢ	3春	2			3					
	情報ボランティアⅠ	3春		2		2					1
	データサイエンスプログラミングⅤ	3春		3			2				
	インターンシップ・キャリア工房	3春		2			1				
	コンピュータビジョン	3春		2							1

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼任・ 兼担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
共 通 教 育 科 目	環境・エネルギー・SDGs概論	2春		2							1
	地球システムのしくみ	2春		2							1
	ライフサイクルアセスメント概論	2秋		2							1
	現代社会の基礎知識Ⅰ	1春		2							3
	現代社会の基礎知識Ⅱ	1秋		2							3
	現代社会の諸問題	1秋		2							1
	会社の仕組みと経営の仕組み	2春・秋		2							1
	起業とビジネスプラン	3春		2							1
	新会社設立と技術経営	3秋		2							1
	暮らしの支援とエンジニアの協働	1春		2		1					4
	地域活動リテラシー	1秋		2							2
	キャリアデザイン	2春・秋		2							1
	Focus on Inter-Cultural Communication	1春・秋		2							2
	Focus on Cross-Cultural Understanding	2春		2							2
	Science and Technical English Presentations	3春		2							2
専 門 科 目	Integrated Science and Technology	3秋		2							2
	日本での生活と学習	1春		1							1
	日本事情	1秋		2							1
	小計(71科目)	－	7	98	0	1					89
	情報リテラシー	1春・秋	2								2
	データサイエンスとAI入門	2秋	2			4	0				7
	線形代数Ⅰ	2・3春		2							1
	代数学Ⅰ	2・3春		2							1
	幾何学Ⅰ	2・3春		2							1
	解析学Ⅰ	2・3春		2							2
	応用数学Ⅰ	1秋		2							1
	線形代数Ⅱ	2・3秋		2							1
	代数学Ⅱ	2・3秋		2							1
	幾何学Ⅱ	2・3秋		2							1
	解析学Ⅱ	2・3秋		2							1
	応用数学Ⅱ	2・3秋		2							1
	フレッシュマンゼミ	1春	1			6	4				
	データサイエンスプログラミングⅠ	1春	2			1	2				
	メディア情報学	1春		2							1
	情報理論	1秋		2		1					
	数理統計	1秋・2春		2							1
	データサイエンス基礎数理	1秋・2春		2		1	1				
	データサイエンスプログラミングⅡ	1秋	2			1	2				
	プロジェクトマネジメント	1秋	2			2	0				
	情報ネットワーク基礎	2春		2							1
	データベース	2春		2			1				1
	人工知能	2春		2		1					
	データサイエンスプロジェクトⅠ	2春	2			1	2				
	データサイエンスプログラミングⅢ	2春		3		1	2				
	情報セキュリティ基礎	2春		2			1				
	経済性工学	2秋		2		1	0				
	データ工学	2秋		2							0
	センサネットワーク	2秋		2		1					
	アルゴリズムとデータ構造	2秋		2			1				1
	ソフトウェア工学	2秋		3		1					1
	データサイエンスプロジェクトⅡ	2秋	2			3	0				
	データサイエンスプログラミングⅣ	2秋	3			1	2				
	情報セキュリティ応用	2秋		2			1				
	システム最適化	3春		2							1
	サービス工学と品質	3春		2		1					
	IoTシステムデザイン	3春		2		1					
	機械学習Ⅰ	3春		2		1					
	データサイエンスプロジェクトⅢ	3春	2			3					
	情報ボランティアⅠ	3春		2		2					1
	データサイエンスプログラミングⅤ	3春		3			2				
	インターンシップ・キャリア工房	3春		2		1	0				
	コンピュータビジョン	3春		2							1

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼任・ 兼担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
	卒研プレゼミ	3秋	2			6	5				
	インタラクシオンデザイン	3秋		2							1
	計算知能	3秋		2		1					
	経営情報システム	3秋		2		1					
	機械学習Ⅱ	3秋		2			1				
	データサイエンスプロジェクトⅣ	3秋	2			3					
	情報ボランティアⅡ	3秋		2		2					1
	データサイエンスプログラミングⅥ	3秋		3		1	1				
	卒業研究Ⅰ	4春	4			6	5				
	情報ボランティアⅢ	4春		2		2					1
	卒業研究Ⅱ	4秋	4			6	5				
	物理体感工房Ⅰ	1春		1							5
	物理体感工房Ⅱ	1秋		1							5
	物理体感工房Ⅲ	2春		1							5
	物理体感工房Ⅳ	2秋		1							5
	フィジカルコンピューティング工房Ⅰ	1春		1		1	1				
	フィジカルコンピューティング工房Ⅱ	1秋		1		1	1				
	フィジカルコンピューティング工房Ⅲ	2春		1		1	1				
	フィジカルコンピューティング工房Ⅳ	2秋		1		1	1				
	小計(62科目)	－	32	92	0	6	5	0	0	0	22
教 職 科 目	教職論	1秋			2						1
	教育原理	2春			2						1
	教育課程論	2春			2						1
	教育の方法と技術	2春			2						1
	生徒指導論	2春			2						1
	教育制度論	2秋			2						1
	学習心理学	3春			2						1
	教育相談	3春			2						1
	進路指導論	3春			2						1
	特別支援教育	3秋			1						1
	特別活動及び総合的な学習の時間の指導法	3秋			2						1
	情報科教育法Ⅰ	3春			2						1
	情報科教育法Ⅱ	3秋			2						1
	教育実習Ⅰ	3秋			1						1
	教育実習Ⅱ	4通			2						1
	教職実践演習(中・高)	4秋			2	1					1
	小計(16科目)	－	0	0	30	1	0	0	0	0	9
合計(149科目)		－	39	190	30	7	5	0	0	0	102
卒業要件及び履修方法											
必修科目39単位を含み、共通教育科目から38単位以上、学科専門科目から80単位以上を修得し、合計124単位以上を修得すること。 (履修科目の登録の上限：24単位（半期）・48単位（年間）)											

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼任・ 兼担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
	卒研プレゼミ	3秋	2			7	4				
	インタラクシオンデザイン	3秋		2							1
	計算知能	3秋		2		1					
	経営情報システム	3秋		2		1					
	機械学習Ⅱ	3秋		2			1				
	データサイエンスプロジェクトⅣ	3秋	2			3					
	情報ボランティアⅡ	3秋		2		2					1
	データサイエンスプログラミングⅥ	3秋		3		1	1				
	卒業研究Ⅰ	4春	4			7	4				
	情報ボランティアⅢ	4春		2		2					1
	卒業研究Ⅱ	4秋	4			7	4				
	物理体感工房Ⅰ	1春		1							5
	物理体感工房Ⅱ	1秋		1							5
	物理体感工房Ⅲ	2春		1							5
	物理体感工房Ⅳ	2秋		1							5
	フィジカルコンピューティング工房Ⅰ	1春		1		1	1				3
	フィジカルコンピューティング工房Ⅱ	1秋		1		1	1				3
	フィジカルコンピューティング工房Ⅲ	2春		1		1	1				
	フィジカルコンピューティング工房Ⅳ	2秋		1		1	1				
	小計(62科目)	－	32	92	0	7	4				25
教 職 科 目	教職論	1秋			2						3
	教育原理	2春			2						1
	教育課程論	2春			2						1
	教育の方法と技術	2春			2						1
	生徒指導論	2春			2						1
	教育制度論	2秋			2						1
	学習心理学	3春			2						1
	教育相談	3春			2						1
	進路指導論	3春			2						1
	特別支援教育	3秋			1						1
	特別活動及び総合的な学習の時間の指導法	3秋			2						1
	情報科教育法Ⅰ	3春			2						1
	情報科教育法Ⅱ	3秋			2						1
	教育実習Ⅰ	3秋			1						1
	教育実習Ⅱ	4通			2						1
	教職実践演習(中・高)	4秋			2	0					1
	小計(16科目)	－	0	0	30	0					10
合計(149科目)		－	39	190	30	8	4	0	0	0	116
卒業要件及び履修方法											
必修科目39単位を含み、共通教育科目から38単位以上、学科専門科目から80単位以上を修得し、合計124単位以上を修得すること。 (履修科目の登録の上限：24単位（半期）・48単位（年間）)											

- (注)
- ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
 - ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**太字の赤字**としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(令和2年度開設であれば令和元年度)の表は適宜削除してください。
(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
 - ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。

(1) ー②授業科目表に関する変更内容

【令和4年度】

・専任教員の昇任に伴い、「データサイエンスとAI入門」「フレッシュマンゼミ」「プロジェクトマネジメント」「データサイエンスプロジェクトⅠ」「経済性工学」「データサイエンスプロジェクトⅡ」「インターンシップ・キャリア工房」「卒研プレゼミ」「卒業研究Ⅰ」「卒業研究Ⅱ」の「教授」・「准教授」の人数を修正。
・兼任教員並びに兼任教員の新規採用に伴う担当教員の見直しの理由により、「工学基礎物理」「物理Ⅰ」「工学基礎物理実験」「健康とスポーツ」の人数を変更
・教育効果の向上を図るために、「スタディスキルズ」「学修と実工学」「大学生のための文章読解」「大学生のための文章作成」「日本語プレゼンテーション」「ものづくり基礎実習Ⅰ」「ものづくり基礎実習Ⅱ」「基礎英語Ⅰ」「基礎英語Ⅱ」「リーディングスキルⅠ」「プレゼンテーションⅠ」「海外英語セミナー」「暮らしの支援とエンジニアの協働」「地域活動リテラシー」「情報リテラシー」「解析学Ⅰ」「データサイエンス基礎数理」「フィジカルコンピューティング工房Ⅰ」「フィジカルコンピューティング工房Ⅱ」の担当教員の見直しを行った。
・教職課程科目の充実を図るために、「教職論」の担当教員の見直しを行った。
・「データ工学」担当の兼任講師退職のため、現段階においては、後任担当者を調整している。当該科目は、2023年秋学期開講のため、2022年度における教育的影響はない。

- (注) ・ 2 (1) ー① 授業科目表に記入された各年度における変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度（令和2年度開設であれば令和元年度）の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計（A）	必修	選択	自由	計	
19 科目	114 科目	16 科目	149 科目	19 科目 [0]	114 科目 [0]	16 科目 [0]	149 科目 [0]	

(注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎・展開・職業専門、総合」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎・展開・職業専門、総合」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{149} = \boxed{}0\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3) 未開講科目」と「(4) 廃止科目」の合計数となるように留意してください。

4. 既設大学等の状況

大 学 の 名 称	日 本 工 業 大 学						学生募集停止学科数	0	平均入学定員超過率1.3倍以上の学科数	0	備 考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和4年度入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の学科のみ)	開設年度	所 在 地	
	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度	年度	
基幹工学部											
機械工学科	4	170	—	770	学士 (工学)	1.04	0.98	—	平成30	埼玉県南埼玉郡宮代町 学園台4丁目1番1号	令和4年度より入学定員を変更
電気電子通信工学科	4	150	—	660	学士 (工学)	1.01	0.93	—	平成30	埼玉県南埼玉郡宮代町 学園台4丁目1番1号	令和4年度より入学定員を変更
応用化学科	4	80	—	320	学士 (工学)	0.80	0.55	—	平成30	埼玉県南埼玉郡宮代町 学園台4丁目1番1号	
先進工学部											
ロボティクス学科	4	100	—	400	学士 (工学)	1.05	1.05	—	平成30	埼玉県南埼玉郡宮代町 学園台4丁目1番1号	
情報メディア工学科	4	120	—	720	学士 (工学)	1.12	1.30	—	平成30	埼玉県南埼玉郡宮代町 学園台4丁目1番1号	令和4年度より入学定員を変更
データサイエンス学科	4	120	—	120	学士 (工学)	1.25	1.25	令和4	令和4	埼玉県南埼玉郡宮代町 学園台4丁目1番1号	
建築学部											
建築学科	4	250	—	1000	学士 (工学)	1.06	1.12	—	平成30	埼玉県南埼玉郡宮代町 学園台4丁目1番1号	
工学研究科											
博士前期課程											
環境共生システム学専攻	2	15	—	30	修士 (工学)	0.26	0.26	—	平成25	埼玉県南埼玉郡宮代町 学園台4丁目1番1号	
機械システム工学専攻	2	35	—	70	修士 (工学)	0.61	0.51	—	平成25	埼玉県南埼玉郡宮代町 学園台4丁目1番1号	
電子情報メディア工学専攻	2	25	—	50	修士 (工学)	0.56	0.48	—	平成25	埼玉県南埼玉郡宮代町 学園台4丁目1番1号	
建築デザイン学専攻	2	25	—	50	修士 (工学)	0.42	0.36	—	平成25	埼玉県南埼玉郡宮代町 学園台4丁目1番1号	
工学研究科											
博士後期課程											
環境共生システム学専攻	3	2	—	6	博士 (工学)	0.00	0.00	—	平成27	埼玉県南埼玉郡宮代町 学園台4丁目1番1号	
機械システム工学専攻	3	2	—	6	博士 (工学)	0.50	1.00	—	平成27	埼玉県南埼玉郡宮代町 学園台4丁目1番1号	
電子情報メディア工学専攻	3	2	—	6	博士 (工学)	0.00	0.00	—	平成27	埼玉県南埼玉郡宮代町 学園台4丁目1番1号	
建築デザイン学専攻	3	2	—	6	博士 (工学)	0.16	0.50	—	平成27	埼玉県南埼玉郡宮代町 学園台4丁目1番1号	
技術経営研究科											
技術経営専攻	1	30	—	30	技術経営 修士 (専門職)	1.20	1.20	—	平成17	東京都千代田区神田神保 町 2丁目5番地2	

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学、大学院、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください(専攻科及び別科を除く)。
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 - ・「平均入学定員超過率」には、報告年度(令和4年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
 - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

(1) 一②担当教員表に関する変更内容

【令和4年度】

- ・担当教員充実の理由により、荒川俊也教授の担当科目を追加
- ・担当教員充実の理由により、糸野文洋教授の担当科目を追加
- ・大宮望 准教授から教授に昇任。
- ・担当教員充実の理由により、新井啓之教授（兼任）の担当科目を追加
- ・担当教員充実の理由により、大山真理教授（兼任）の担当科目を追加
- ・担当教員充実の理由により、佐々木誠教授（兼任）の担当科目を追加
- ・担当教員充実の理由により、細田彰一教授（兼任）の担当科目を追加
- ・担当教員充実の理由により、八木浩史教授（兼任）の担当科目を追加
- ・担当教員充実の理由により、山地秀美教授（兼任）の担当科目を追加
- ・担当教員充実の理由により、市川泰弘准教授（兼任）の担当科目を追加
- ・担当教員充実の理由により、川上省三准教授（兼任）の担当科目を追加
- ・担当教員充実の理由により、柳橋康博准教授（兼任）の担当科目を追加
- ・担当教員充実の理由により、鈴木仁准教授（兼任）の担当科目を追加
- ・担当教員充実の理由により、小林桂子准教授（兼任）の担当科目を追加
- ・担当教員充実の理由により、田中佳子准教授（兼任）の担当科目を追加
- ・芳賀健 准教授から教授に昇任
- ・担当教員充実の理由により、山中章子准教授（兼任）の担当科目を追加
- ・筒井研多 講師から教授に昇任
- ・中村耀を講師（兼任）として新規採用
- ・橋本秀一 講師から教授に昇任
- ・南谷泰良准教授（兼任）退職
- ・山口剛 講師から准教授に昇任
- ・担当教員充実の理由により、安蒜貴子講師（兼任）の担当科目を追加
- ・伊藤雅一講師（兼任）辞任
- ・担当教員充実の理由により、稻益佐知子講師（兼任）の担当科目を追加
- ・担当教員充実の理由により、井沼香保里講師（兼任）の担当科目を追加
- ・担当教員充実の理由により、巖谷薫講師（兼任）の担当科目を追加
- ・枝根茂講師（兼任）辞任
- ・小川佳奈講師（兼任）辞任
- ・担当教員充実の理由により、甲斐絵里講師（兼任）の担当科目を追加
- ・担当教員充実の理由により、加藤秀次講師（兼任）の担当科目を追加
- ・担当教員充実の理由により、金承子講師（兼任）の担当科目を追加
- ・黒羽正見講師（兼任）辞任
- ・澁井とし子講師（兼任）辞任
- ・担当教員充実の理由により、白戸朝子講師（兼任）の担当科目を追加
- ・菅野遼講師（兼任）辞任
- ・担当教員充実の理由により、當間喜久雄講師（兼任）の担当科目を追加
- ・担当教員充実の理由により、長島佳久講師（兼任）の担当科目を追加
- ・担当教員充実の理由により、南波千春講師（兼任）の担当科目を追加
- ・担当教員充実の理由により、野中陽介講師（兼任）の担当科目を追加
- ・担当教員充実の理由により、梶島雄講師（兼任）の担当科目を追加
- ・担当教員充実の理由により、秦珠々菜講師（兼任）の担当科目を追加
- ・丸山三四四講師（兼任）を新規採用
- ・丸山友希夫講師（兼任）辞任
- ・村岡宗一郎講師（兼任）を新規採用
- ・森山富治男講師（兼任）辞任
- ・担当教員充実の理由により、陸田絵里子講師（兼任）の担当科目を追加

(注) ・ 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。

- ・ 認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（ＡＣ教員審査）を受けてください。ＡＣ教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。
 - ・ 「専任教員採用等変更書（ＡＣ）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- ・ 不要な年度（令和２年度開設であれば令和元年度）の表は削除せず、斜線をに入れてください。

(2) 専任教員数等

(2)－① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要専 任教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数
10	5
名	名

(注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二条別表第一イにより算出される専任教員数を記入してください。

(2)－② 専任教員等数【大学】

設置時の計画						現在（報告時）の状況					
教 授	准教授	講 師	助 教	計 (A)	助手 (A')	教 授	准教授	講 師	助 教	計 (B)	助手 (B')
6	6	0	0	12	0	7	4	0	0	11	0
(7)	(4)	(0)	(0)	(11)	(0)						
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教 授	准教授	講 師	助 教	計 (C)	助手 (C')	教 授	准教授	講 師	助 教	計 (D)	助手 (D')
7	5	0	0	12	0	7	5	0	0	12	0
[1]	[△1]	[0]	[0]	[0]	[0]	[1]	[△1]	[0]	[0]	[0]	[0]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、（ ）内に開設時の状況を記入してください。
・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、認可で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を記入するとともに、
[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）
・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、
[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2)－③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告時（上記 (B)）の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時（上記 (C)）の教員う ち、定年を延長し て採用する教員数
65	0	0
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2)－④ 設置時の計画に対する教員充足率

現在（報告時）の完成年度時の状況(C)

設置時の計画(A)

=

12

12

=

100

%

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2)－⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数

現在（報告時）の状況(B)

=

0

11

=

0

%

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2)－⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

現在（報告時）の完成年度時の状況(C')

設置時の計画(A')

=

0

0

=

#DIV/0!

%

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由
(3)－① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番 号	職 位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由				
		該当なし									
合 計（D）						後任補充状況の集計（E）					
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）				①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）	
0	人	必修	0	科目	必修	科目	必修	科目	必修	科目	
		選択	0	科目	選択	科目	選択	科目	選択	科目	
		自由	0	科目	自由	科目	自由	科目	自由	科目	
		計	0	科目	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目	

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した**全ての専任教員**の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
- ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことで、就任した後に辞任した教員は、以下「（3）－②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、**赤字**にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 - ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 - ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3)－② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番 号	職 位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
		該当なし									
合 計（F）						後任補充状況の集計（G）					
辞任した教員数			担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）			①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）	
0	人	必修	0	科目	必修	科目	必修	科目	必修	科目	
		選択	0	科目	選択	科目	選択	科目	選択	科目	
		自由	0	科目	自由	科目	自由	科目	自由	科目	
		計	0	科目	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目	

- (注) ・ 一度就任した後に、**定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員**について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、**赤字**にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 - ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 - ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3)－③ 上記(3)－① ・ (3)－② の合計

合計（D）＋（F）					後任補充状況の集計（E）＋（G）								
辞任等した教員数		担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）			①の合計数（a）			②の合計数（b）			③の合計数（c）		
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

(3)－④ 設置時の計画に対する教員辞任率

(3)－③合計(D)+(F)

(2)－②設置時の計画(A)

=

0

12

=

0

%

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3)－⑤ 令和3年度報告書から、新たに辞任等した専任教員等の状況

0

人

- (注) ・ (3)－①、(3)－②で赤字で記載した専任教員数の合計数を記載してください。

(3) - ⑥ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番 号	職 位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別		担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
		該当なし									
合計						後任補充状況の集計					
辞任した教員数			担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
0	人		必修	0	科目	必修	科目	必修	科目	必修	科目
			選択	0	科目	選択	科目	選択	科目	選択	科目
			自由	0	科目	自由	科目	自由	科目	自由	科目
			計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 定年により退職した全ての専任教員についてに記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。
- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 - ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 - ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 上記（3）の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等		履 行 状 況		今後の の実施計画
届 出 時 (令和3年)	該当なし				

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

＜先進工学部 データサイエンス学科＞

（１）設置計画変更事項等

設 置 時 の 計 画	変更内容・状況、今後の見通しなど
	該当なし

（注）・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

（２）教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

① 実施体制 a 委員会の設置状況 学長のリーダーシップのもと「IR室」と「教育研究推進室」を設置し、教育の改革、研究の推進に関する事項の基礎データの収集と分析をIR室が、これらを向上させるための施策の企画・立案を教育研究推進室が担う体制となっている。 ② 実施状況 a 実施内容 ○授業評価アンケート 学部、大学院博士前期課程において開講される科目（論文指導、ゼミナール科目等、一部の科目を除く）を受講した学生に対し以下の事項を問い、授業の質的向上への寄与を目指した。令和2年度においては新型コロナウイルスの発生に伴い急遽実施した遠隔授業に関する設問を追加した。 ①授業をふりかえってみよう 学生自身が授業を振り返る設問を設定。当該授業にかかる理解・習熟度把握、予習復習時間、疑問点があった場合にどのような行動をとったかなどを問うた。 ②教員の教え方について 学生から見て教員が十分な授業の計画・準備を行っていたか、学生が質問・意見を発する機会の多寡やそのフィードバック、遠隔授業で配信される資料のわかりやすさ・課題の量の適切性を問うた。 ③自由記述 「あなたがこの授業で最も印象に残ったことや得たもの」、換言すれば学びを通じて学生が成長できたかを問い、ネガティブな回答に偏らずポジティブな所見を見出すことも試みた。 ○教員相互評価 2006年から15年以上にわたって実施されている授業公開・相互評価プログラムについては、令和3年度に大幅な制度の改定を検討し、試行として春学期に19名の教員を対象とした授業公開と相互参観・評価を行った。ここで試行した新たなプログラムは授業改善への意欲にあふれるものであったが、全学的に普及させるにあたって障害となりうる点がいくつか判明したため、令和4年度にむけて更なる改善を行う。

○教育改革シンポジウム（令和4年度現在までに68回実施）：全学で実施

令和3年度 教育改革シンポジウムテーマ

- ・第63回教育改革シンポジウム：アカデミックハラスメント・パワーハラスメント防止セミナー
- ・第64回教育改革シンポジウム：授業における著作物の正しい利用法
- ・第65回教育改革シンポジウム：教職員のための声の出し方講座
- ・第66回教育改革シンポジウム：障害のある学生と合理的配慮
- ・第67回教育改革シンポジウム：改正個人情報保護法セミナー
- ・第68回教育改革シンポジウム：彩の国連携力育成プロジェクトの概要と学生の学び

○ファカルティディベロップメント（FD）・スタッフディベロップメント（SD）研修会

上記教育改革シンポジウムをFD・SD研修会と位置付けているほか、5月末に「教育研究推進のための基本ルール説明会」を別途に開催。詳細は「b 実施方法」の項を参照。

○新任教員の研修

新任教員に対しては、着任当初に全学共通で1～2時間程度の研修（説明会）を実施している。また、学部1年生必修科目「フレッシュマンゼミ」科目における学長講話を希望者に対し聴講できる機会も設けている。

b 実施方法

○授業評価アンケート

学生による授業評価アンケートは、一部の科目を除き、原則として全ての科目を対象に実施している。近年は教育用のICT機能を利用するように改め、アンケート回収率の向上と集計作業の大幅な短縮に寄与している。また、授業改善のためのPDCAサイクルに即して設問項目を見直し、学生が一評価者として回答するだけでなく、学生が授業を振り返り「授業を通じてどのように成長したか」を問う枠組みとしている。

○授業公開・参観及び評価

シラバスその他の資料を事前に閲覧した上で、各教室で実際に行われている授業を、他の教員や事務職員が参観し、第三者の視点からその長所や改善点の指摘を行う「授業公開・相互評価」は、本学では平成18年から行われており、長い歴史を誇っている。令和3年度は名称を「教育点検プログラム」と改め、内容も大幅に改定した上で、19名の教員を対象に試行的に授業公開・相互参観を行った。この試行により、さらに改善が必要な点が明らかとなったため、令和4年度に向けて更なる制度改善の検討を行う。

○教育改革シンポジウム

教育改革・授業改善等に関するテーマについて、学内教職員の自主的な参加に基づき、毎回150名程度の参加者を得る形で実施している。令和3年度は、新型コロナウイルス感染防止の観点から、会場での直接参加とオンライン参加の両者を併用する形式で実施した。

○ファカルティディベロップメント（FD）・スタッフディベロップメント（SD）研修会

上記教育改革シンポジウムをFD・SD研修会と位置付け、教育および研究における知見の共有を目指しているのみならず、5月末に「教育研究推進のための基本ルール説明会」を開催。公的研究費の使用ルール、研究倫理、安全保障貿易管理のほか、研究における安全を情報共有する機会と位置付けている。また、SD研修会として、管理職を対象としたハラスメント防止等に関するオンライン研修や全教職員を対象としたメンタルヘルスに関するオンライン研修を実施した。

○新任教員の研修

新任教員に対しては、全学共通で1～2時間程度の研修（説明会）を実施している。大学の概要・組織から年間スケジュール、授業実施のための基礎的事項、教学関係の情報等を説明している。また、新入生に対して学長が大学の歴史や綱領、および大学の学びに対する姿勢を話す「学長メッセージ」を新任教員も聴講し、本学の教育の根幹にかかる部分の理解を深めている。

- c 開催状況（教員の参加状況含む）
 - 授業評価アンケート
全教員が参加し、毎学期（春学期、秋学期）実施している。
 - 教員相互評価
全教員が参加し、毎学期（春学期、秋学期）実施していたが、令和3年度は制度の大幅な見直しを行った上で19名の教員を対象に試行的に授業公開・相互参観を行った。
 - 教育改革シンポジウム
令和3年度末までに68回開催している。毎回、学内教職員の自主的な参加により、150名程度の参加者を得ている。
 - 管理職を対象としたハラスメント防止等に関するオンライン研修（SD研修会）
36名を対象として実施し、27名が受講した。
 - 全教職員を対象としたメンタルヘルスに関するオンライン研修（SD研修会）
365名を対象として実施し、214名が受講した。
 - 新任教員の研修
毎年、新任教員全員を対象に研修を実施している。
 - d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

「学生による授業評価アンケート」「教員相互の授業参観」とも、それぞれの結果が授業担当教員にフィードバックされ、「受益者である学生の視点」「自らも教育を行う教員の視点」「第三者に近い事務職員の視点」による多面的な評価、指摘を授業担当教員にもたらしめている。

「教育改革シンポジウム」では、「法令改正等を踏まえた現代の教員が守るべきルール」「現代の学生の特性を踏まえた学生への向き合い方・授業のスキル」「学内で行われている各教育プログラムの周知・紹介」などの多彩なテーマを取り上げており、毎回多数の参加者を得て好評を博している。
- ③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況
- a 実施の有無及び実施時期
毎学期（春学期・秋学期）実施している。
 - b 教員や学生への公開状況、方法等
学生及び教職員に集計結果をポータルサイトで公開している。また、各教員に対してはレーダーチャート化した集計結果を配布し、検証と次学期に向けた授業改善を個々に促している。

（注）・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
 「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

（3）教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

先進工学部では、工学の基礎となる技術・知識の習得と共に、科学技術の進歩や産業構造の変化等に対応できる力、新たな価値観に基づく先進技術を創造・開発する能力を身につけた「ロボティクス」、「情報メディア工学」、更に「データサイエンス」分野の先進技術者を養成することを教育研究上の目的としている。

また、データサイエンス学科は、プログラミングや数理統計等の基礎知識・技能、およびシステム構築技術、データ分析技術、AIやIoT、クラウドコンピューティング等の先端技術の専門知識に関し、その実践に必要とされるレベルの知識と技能を身に付け、問題発見能力、問題解決能力、コミュニケーション能力、およびチームで仕事をする能力を十分に有した、自立した情報技術者を養成することを目的としている。

令和4年4月に開設のため、カリキュラム等に大きな変更はなく、当初予定どおりの教育課程に基づき授業を運営している。1年生は、「フレッシュマンゼミ」をはじめとする専門科目を通じて、学習スキルやモチベーションを高めると共に、将来を考えた学習目標を個々に模索しながら学習に取り組んでいる。

2年生以降については、実習科目等の授業で必要な教育設備等を整備し、教育内容の充実をはかっている。

令和3年4月より、学科の運営や全学的な調整等を担う会議として「教学マネジメント委員会」を設置した。

今後は、同委員会で新学科の履行状況を的確に把握し、必要な事項を審議・検討し、実行していく。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

- 平成15年3月 公表 (大学基準協会提出の報告書)
- 平成20年9月 公表 (日本高等教育評価機構の報告書)
- 平成23年5月 公表 (平成21・22年度自己評価報告書)
- 平成25年10月 公表 (平成23・24年度改善報告書)
- 平成27年4月 公表 (平成25・26年度自己点検評価報告書)
- 平成28年4月 公表 (平成27年度自己点検評価報告書)
- 平成30年4月 公表 (平成28・29年度自己点検評価報告書)
- 令和3年度 公表 (平成30・令和元年度自己点検評価報告書)
- 令和4年度 公表 (令和2・令和3年度自己点検評価報告書)

b 公表方法

- 大学ホームページに自己点検評価報告書を公開している(上記の公表時期参照)。
- その他に、大学ホームページ上に下記のことを公開している。
 - ・大学基準協会による相互評価結果、日本高等教育評価機構からの評価結果報告書
 - ・日本高等教育評価機構へ提出した報告書

③ 認証評価を受ける計画

- ・平成27年度に評価機関（日本高等教育評価機構）の評価を受け、大学評価基準に適合していると認定された。
- ・令和4年度に大学機関別認証評価（日本高等教育評価機構）を受審中である。

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和3年度）

a 公表予定の有無 [有 ・ 無]

《 a で「有」の場合》

b 公表（予定）時期 [調査結果公表後1ヶ月以内 ・ 公表後2～3ヶ月以内 ・ 公表後3ヶ月以降]

c 公表方法 [ウェブサイトへの掲載 ・ その他（ ）]

《 a で公表「無」の場合》

d 公表しない理由 []

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、

設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。